

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 彰 副会長：仲田 廣志 幹事：大塚 博巳 副幹事：池ノ谷 敏正

第1919回

- ソング 君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー 藤枝南RC 望月 誠君



【2011-2012年度 RIテーマ】

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

カルヤン・パネルジー



【桔梗】

写真提供：櫻井龍太君

会長報告 藤枝南RC 伴野 正明君

本日は、ガバナー公式訪問です。先にガバナーよりご指導いただきました。藤枝南クラブについては、女性会員の受け入れをしない方針もしかたないが、地域に全く受け皿がないのはよくない。藤枝地区は藤枝クラブに女性会員がおり良いでしょうと、親クラブに助けていただきました。会員年齢構成はバランスが良いと評価されました。

今年度のガバナーは、3月11日の東日本大震災に対する対応で当初からお忙しいことと察します。地区目標でも、急遽東日本大災害復興支援が盛り込まれました。年間を通して支援を忘れずに、募金をお願いしますとの事です。当初の義捐金の使い方について疑問がわき、積ガバナーが独自の活動をする決心をして実行に移しています。後ほどご報告があると思います。これからは継続的に支援金は必要なことで、私たちも協力を惜しみません。ロータリーにふさわしい活動ができる時としますので皆さんでがんばりましょう。

幹事報告 藤枝南RC 村松 章隆君

- 国際ロータリー日本事務局より
10月のロータリーレートのお知らせが届いております。1\$=78円です。
- 国際ロータリー第2620地区より
地区大会のご案内と本登録のお願いが届いております。
- 東日観光(株)より
2011年国際ロータリー年次大会バンコク大会参加旅行のご案内が届いております

出席報告 小西 啓一君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32/43 74.42%	34/43 79.07%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○石垣君 ○石間君 ○落合君 ○河井君
○酒井君 ○畑君 ○村松君 後藤君 水野君
山田君 仲田晃君

(2)メイクアップ者

松葉 隆夫君(榛南)

ビジター

積 惟貞 第2620地区ガバナー
石垣 徳夫 静岡第5分区分ガバナー補佐
渡邊 雅昭 第2620地区地区幹事
杉山 直 第2620地区事務局長

スマイルBOX 大塚 博巳君

本日は藤枝・藤枝南合同例会にお越しいただき、ありがとうございます。今後ともご指導宜しくお願い致します。 藤枝RC 青島 彰 会長

ガバナー公式訪問

「藤枝・藤枝南RCを
公式訪問して」

第2620地区
積 惟貞 ガバナー



藤枝、藤枝南クラブはそれぞれ青島会長、伴野会長を中心に良好なクラブ運営のもと充実した活

動をなさっていることは高く評価されます。特に藤枝クラブは今年40周年を迎え会員増強にも成功し、これからが楽しみなクラブになりました。藤枝南クラブの伴野会長が例会に会員卓話を重視されるという姿勢は多いに賛同できるものであります。

さて、カルヤン・バネルジーR I 会長のテーマは「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」であります。レイ・クリンギン・スミス前会長のカーボーイ・ロジックを芯とする外に向った積極性に対して、バネルジー会長はインドの伝統思考、「梵我一如」の宇宙観が基本にあると勝手に推察し、ロータリー活動のためには先ず自分自身を高めよと言われているものと解釈いたしました。「家族」「継続」「変化」の重点項目の中で特に強調されたのが「家族」でありました。「家族がコミュニティーの基礎であり、民族の盛衰は家庭の健全にかかっている。」との考えはマルチン・ルター以来職業重視とともにプロテスタントの基本的思想でもあります。そしてこれが近代資本主義のバックボーンとなり、ロータリーの活動もこのような社会環境でこそ発揮できるわけです。R I 会長方針に従い、私たちもロータリー活動の中に家族の参加を出来る限り試み、先ずは家族にロータリーについてよりよく知っていただくべきであります。

さて、前年度からR I の長期計画に従って中川直前ガバナーがさまざまな当地区の方針を決定し実行された上で私に引き継がれました。当然私はそのレールの上に乗って今年度の事業を施行する立場と認識しておりました。現在もその方針は変わってはおりません。しかし本年3月の大震災で事情が変わった部分があります。直前ガバナー会では前年度集められた基金をもとに被災遺児に対する育英金とファイブフォーワンと称する被災クラブ救済制度を確立されました。しかし今年度はR財団の小澤トラスティーが日本だけの東日本震災復興日本委員会を立ち上げ、機動的に被災地支援に取り掛かっています。今年中は諸般の事情を踏まえ、こちらに資金を統一することが妥当と判断しております。いずれにせよ息の長い支援活動を継続することが必要と思われますのでご協力い

ただきたく存じます。

ところで私自身は基本的にロータリーの親睦と職業奉仕に軸足を置いた思考の持ち主であり、例会を重視します。ロータリアンは例会に出席し自身を磨き、どこかに気高く美しい何かを待つ必要があると思います。それにはベテラン会員が出来るだけ若い会員にロータリーのあれこれを伝える努力が必要です。[縁尋機妙、多逢聖因]これは昭和の陽明学者、安岡正篤の言葉で、良い縁はさらに良い縁に繋がり、幸せに通ずるという意味だそうですが、これこそロータリーの真髄であり、ロータリアンの特典でもあります。それは皆様方一人ひとりが若者に尊敬の念を持たれるようなロータリアンを目指すべきと言うことでもあります。



(担当／新島君)